



HP「辻よし子と歩む会」で検索



「辻よし子と歩む会」

☎ 190-0154

あきる野市高尾 182-1 佐橋方

電話 & FAX : 042-596-4569

e-mail : kusasigi@nifty.com

共同代表 : 柏倉倫子・青木真知子

小さな声に耳をすまし、大きな力にひるまず！

期待を裏切られた市長の答弁

前市長の失職により市長となった中嶋氏は、最初の施政方針で「議員や市民の皆様の意見を真摯に受け止め合意形成に努めながら施策事業進めてまいります」と言っている。五日市駅前の市有地の活用について、私も意見を公募で寄せていたので、市長が、どのような答弁をするのか期待しながら傍聴した。

自民党のA議員のヨイシヨの質問には驚いた。議論する前に筋書きが出来上がっているかのようなものばかり。続いて立った辻議員の質問は、市民の側に立った初歩的なものから理路整然としたもの。開示請求によって明らかとなった疑問点などを基にして、市民の負託を受けた市長としてのあるべき姿勢などについて食い下がり質問したが、市長はそれには^{まとも}真面に受け答えせず。

市長が議員の時に会長を務めていた五日市活性化戦略委員会が、会議で話し合わずに執行部と称される一部の人たちによって、五日市まちづくり協議会を発足させることが決められていた。しかも、市の予算を付けて、五日市まちづくり協議会のホームページが作成されていたことも明らかになった。五日市まちづくり協議会が市に提案したものは、ある意味、市長の取り巻きと思われる人たちが中心になって考え出されたものであることが明らかになったと言えよう。

市は、市民からの批判を恐れ、形だけの意見募集をしたものの、それらは無視されそうだ。合意形成や公平性、どれをとっても私の期待は見事に裏切られた。(S・N 山田在住)



数の力で押し通すのではなく、議論を重ねて合意形成を！

9月議会最終日。審議が全て終わったところで、突然、自民党のH議員が「動議！」と叫んだ。辻さんと共産党3議員を名指して「反省を求める決議」を出すというのだ。

休憩となり、議会運営委員会（議運）をしている間、長く待たされ午後4時に本会議再開となった。名指しされた4人は退席させられ、壇上に自民・公明・未来の3人が並んで決議文を読み上げた。

内容は、議会初日の補正予算案に、4人が動議で修正案を出したのだが、体裁に不備があり、そのことで会議を混乱させて撤回に至ったことが問題だし、提出前に議運に伝えなかったのは不誠実だから反省しろというものだった。

はっきりさせておこう。動議を出す前に議運に伝えなければならないというルールはない。彼らの動議だって、事前に議運に諮ってはいない。勝手な言い草だ。

その後、辻さんと共産党のT議員が呼ばれて発言をすることになった。2人は、それぞれのことばで、「修正案にミスがあったことは認めるが、内容としてまちがったことを言ったわけではない。」「修正案の撤回に至った経緯は、撤回した後の反省のことばも述べ、謝罪している。それを決議という形で再度取り上げるのはおかしい。」などと語った。

決議は自民・公明・未来の賛成多数で可決したのだが、そもそも、五日市駅前再開発をきちんと市民に知らせずに決定するという、強引なやり方から起きた問題なのだ。数の力で異論をつぶすのではなく、本質的な議論を重ね、市長も掲げた「合意形成」に努めてほしい。(S・K 高尾在住)

あきる野上空を飛ぶ米軍機の騒音を何とかしたいと思いませんか？

～横田基地公害訴訟原告団に加わって～

私はあきる野市草花に住んでいます。昨年11月、米軍機の夜間と低空での飛行訓練をやめさせるよう、国を訴える裁判に加わりました。

なぜ訴えることにしたのか？ まず、ここ数年、騒音がひどくなってきたということがあります。以前からC-130という輸送機が飛んでいましたが、オスプレイが飛ぶようになって、うるさく感じるようになりました。

そして、騒音のみならず、そもそも住宅街の上を低空で飛んで大丈夫なのか、万が一、飛行中に故障でも起きたらどうするのか。特にオスプレイは故障が頻発しているだけに心配になりました。

私は子どもの頃、大阪空港のすぐ側に住んでいました。私が住んでいた所は滑走路の離陸側で、騒音は大きかったものの、決して飛行機が住宅街の上を低空で旋回飛行するなどということはありませんでした。民間の飛行機はそんな危険な飛び方はしないし、また、する必要もありません。

調べてみると、アメリカ本土では住宅街の上を低空で飛んではいけないことが分かりました。それがなぜ、日本では可能なのか？ 端的に言えば、米軍はアメリカ人の人権は守るけど、日本人なら守らない。アメリカ得意の「ダブル・スタンダード」(二重基準)なのです。そして、それを日本政府が認めている。日米地位協定は米軍の言いなりなのです。

あきる野の上空を飛ぶ米軍機が意味するもの。それは沖縄の基地と同じく地域住民への「押しつ

け」であり、米軍による「暴力」と言っても過言ではありません。また、横田基地は朝鮮戦争、ベトナム戦争など、爆撃機の出発基地となった歴史があります。そして今、岸田政権は南西諸島に基地をつくってミサイルを配備し、軍事費を3年間で倍増し、「戦う覚悟」などと言って「台湾有事」を煽っています。

以上のような思いから、我が家の上空を飛ぶ米軍機を看過することができなくなりました。

8月に東京地裁立川支部で行われた第1回口頭弁論には、同じような危機感をもった人たちが定員の100名を超えて傍聴に来てくれました。ぜひ、この裁判にご注目下さい。(T・K 草花在住)

市の課題が
よく分かる

会派くさしぎ

辻よし子の議会報告会

9月議会のポイントを

分かりやすくお伝えします！

議会の様子が
よく分かる

11月5日(日)

14:00～16:00

あきる野ルピア3階

集会室

申込み不要・参加費無料

無党派
一人会派

辻よし子・プロフィール

1960年生まれ。小学校教員を経て、ボランティアとしてタイの農村教育に関わる。1995年よりあきる野市に暮らす。「川原で遊ぼう会」を中心に市内の環境保全活動に取り組む。3.11以後、脱原発の市民活動を始める。2015年10月の補欠選挙で初当選。ここで9年目に入る。常任委員会は環境建設委員会。広報広聴委員会委員長。夫、次男、ネコ1匹と草花に暮らす。

「辻よし子と歩む会」

会員募集中！

年会費：1,000円(カンパ歓迎！)

郵便振替

加入者名 辻よし子と歩む会

口座番号 00140-9-430053

ゆうちょ銀行(店番)〇一九(ゼロイチキュウ)店(019)

当座 0430053

